

2018年8月1日

国際法学会 2018年度（第121年次）研究大会ご案内

このたび、本年度の研究大会を次の通り開催いたします。

ご多用中と存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご出席下さいますようご案内申し上げます。

一般財団法人 国際法学会
代表理事 浅田 正彦

開催日 2018年9月3日(月)・4日(火)・5日(水)

会 場 札幌コンベンションセンター

〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

<<https://www.sora-scc.jp/>>

※ 札幌コンベンションセンターへのアクセスおよび会場の配置は、同封のご案内をご覧ください。

大会プログラム

第1日 9月3日(月)

◇午前 (9時30分～12時45分)

研究企画委員会及び雑誌編集委員会の会合(9時30分～12時45分)

107 会議室・108 会議室

国際法学会各種委員会の全体会合(12時～12時15分)

大ホール

研究企画委員会及び雑誌編集委員会以外の委員会の会合(12時15分～12時45分)

◇午後の部(13時30分～17時30分)

受付開始 12時30分

共通テーマ「国際社会における非拘束的文書の役割」

大ホール

座長

滋賀大学学長

位田 隆一

1 国際法委員会における成果文書の形式とその法的意味

国際法委員会委員

村瀬 信也

2 国際裁判における非拘束的文書の役割と裁判所の機能

京都大学教授

酒井 啓亘

3 実務における国際約束と非拘束的文書の区別・使い分け

外務省条約課長

深堀 亮

4 国際ビジネス紛争における「非拘束的文書」の拘束力

立教大学教授

早川 吉尚

理事会(18時～21時)

107 会議室

第2日 9月4日(火)

◇午前の部(9時30分～12時45分)

受付開始 9時

<The Honourable Shigeru Oda Commemorative Lectures>

大ホール

Customary International Law in Theory and Practice

Chair

Kimio YAKUSHIJI, Professor, Ritsumeikan University

1 How to Identify Customary International Law?

— On the Final Outcome of the Work of the International Law Commission (2018)

Georg NOLTE, Member, the International Law Commission

2 ICJ's Practice in Determining the Existence of Customary International Law

Tatsuya ABE, Professor, Aoyama Gakuin University

3 Inconvenient Truths about the Identification of Customary International Law
in International Criminal Law

Hitomi TAKEMURA, Associate Professor, Hitotsubashi University

◇午後の部(14時15分～17時30分)

第1分科会「核兵器不拡散条約(NPT)採択50年と核軍縮」

座長 大阪女学院大学教授 黒澤 満

1 NPTの軌跡と展望

法政大学教授 岡松 暁子

2 国際法における核軍縮交渉義務の法的性質

帝京大学准教授 喜多 康夫

3 核軍縮・不拡散における普遍性の意義——核実験禁止の系譜を題材として

長崎大学教授 広瀬 訓

4 核兵器禁止条約——是か非か

元軍縮担当国連事務次長 阿部 信泰

第2分科会「国際法による科学技術的知見の受容とそれへの対応」

座長 名古屋経済大学特別教授 富岡 仁

1 海洋法秩序の形成・発展と科学技術的知見

東北大学准教授 西本 健太郎

2 多数国間環境協定における科学的知見への対応と予防原則の意義

立命館大学教授 西村 智朗

3 AI・ロボット兵器と国際法規制の方向性

京都産業大学教授 岩本 誠吾

4 ICO(Initial Coin Offering)に対する証券関係法規の適用の国際的局面

同志社大学教授 高橋 宏司

第3分科会「国際商事仲裁とニューヨーク条約60周年」

座長 神戸大学教授 中野 俊一郎

1 ニューヨーク条約の改正論議における問題点と仲裁判断の概念

国士舘大学教授 中村 達也

2 仲裁合意の方式の準拠法とニューヨーク条約

広島修道大学准教授 中林 啓一

3 仲裁手続違背と仲裁判断の承認・執行

立教大学特任准教授 小川 和茂

4 ニューヨーク条約と競争請求

同志社大学特任助手 西岡 和晃

会員総会(17時30分～18時)

大ホール

懇親会(18時30分～20時30分)

中ホール

第3日 9月5日(水)

◇午前の部 (9時30分～12時45分)

受付開始 9時

個別報告

大ホール

座長

大阪市立大学教授

平 覚

1 WTO紛争解決手続における非WTO法の位置

東京大学准教授

北村 朋史

座長

早稲田大学教授

清水 章雄

2 条約、スタンダード、指標(indicators)による貿易ガバナンス

——製薬企業の医薬品アクセス貢献度ランキングを事例として

大阪大学准教授

内記 香子

(共同研究者・加藤 暁子)

座長

同志社大学教授

大矢根 聡

3 グローバル・ガバナンス論とポスト・ポスト冷戦時代の国際秩序

早稲田大学教授

太田 宏

公募分科会A(パネル)

107・108 会議室

「グローバル化時代における海洋生物資源法の再検討

——国際と国内間の法・政策の連関をめぐる学際的対話の試み」

企画責任者兼座長

北海道大学教授

児矢野 マリ

1 企画趣旨及び総論——枠組・視点・基本概念等

北海道大学教授

児矢野 マリ

2 資源管理①——予防的アプローチに基づく海洋生物資源保存義務の発展と日本の国内実施

上智大学教授

堀口 健夫

3 資源管理②——生態系アプローチに関する国際規範の発展と日本の国内実施

東海大学准教授

大久保 彩子

4 IUU漁業対策——日本における寄港国措置協定の実施に焦点をあてて

明治学院大学准教授

鶴田 順

コメンテーター

大阪大学准教授

松本 充郎

コメンテーター

新潟大学准教授

田中 良弘

コメンテーター

甲南大学教授

久保 はるか

コメンテーター

学習院大学教授

阪口 功

コメンテーター

水産庁漁業調整課国際漁業管理官

牧 賢司

◇午後の部 (14時15分～17時30分)

公募分科会B(個別報告)

座長

西南学院大学教授

古賀 衛

- 1 一方的な輸入制限を通じた漁業資源のグローバルな保全に向けて
——EUによるIUU漁業規制の分析

静岡県立大学講師 石川 義道
座長 青山学院大学教授 申 恵丰

- 2 国際法における無国籍の予防と日本の国籍法制——歴史的な観点から

国際基督教大学大学院博士課程 秋山 肇
座長 愛知県立大学教授 高島 忠義

- 3 国際通商法秩序の動態とその基底にあるもの——相互主義に着目して

日本学術振興会特別研究員 平見 健太
座長 広島市立大学教授 吉川 元

- 4 核兵器廃絶への様々なアプローチ

——共通の基盤としての透明性および検証可能性についての考察

外務省軍備管理軍縮課長 今西 靖治

公募分科会C(パネル)

「国連国際法委員会『人道に対する犯罪』条文草案が国際刑事法に与える影響」

企画責任者 南山大学教授 洪 恵子

座長 学習院大学教授 阿部 克則

- 1 国際刑事法体系における「人道に対する犯罪」条文草案の歴史的意義

——定義を中心として

上智大学特別研究員 広見 正行

- 2 「人道に対する犯罪」条文草案における国家間協力と既存のICCレジームとの関係

中央大学兼任講師 妻木 伸之

- 3 「人道に対する犯罪」条文草案における政府職員の刑事管轄権からの免除と恩赦

静岡県立大学准教授 坂巻 静佳

公募分科会D(パネル)

「民事訴訟における域外的な送達および証拠収集に関する現代的考察」

企画責任者 西南学院大学教授 多田 望

座長 東京大学教授 早川 眞一郎

- 1 域外的な送達・証拠収集に関する国際公法理論からの現代的考察

西南学院大学講師 根岸 陽太

- 2 域外送達に関する現代的考察

西南学院大学教授 多田 望

- 3 域外証拠収集に関する現代的考察

一橋大学准教授 竹下 啓介

- 4 域外的な送達・証拠収集の実務に関する現代的考察

森・濱田松本法律事務所弁護士 池田 綾子

- * 専用ウェブサイトによる事前のご登録は、同封の「参加登録のご案内」を参考に、8月24日(金)17時まで期限厳守で必ず行って下さい。
- * お弁当を希望される方は、専用ウェブサイトによる事前登録の際にご注文ください。当日のご注文は受け付けませんのでご注意ください。お弁当を注文されない方は、会場周辺のレストランをご利用ください。
- * 9月3日(月)の各種委員会に参加される委員の方も、研究大会への参加登録とあわせて、各自でお弁当をご注文ください。
- * 学会会費(一般会員 10,000 円、院生会員 7,000 円)は、すべて郵便振替用紙で納入していただくことになっておりますので、大会当日の会場での納入はできません。
- * 新たに入会を希望される方は、入会申込書を学会ホームページ <<http://www.jsil.jp>>で入手のうえ、8月24日(金)必着でご送付ください(宛先:〒231-0023 横浜市中区山下町 194-502 学協会サポートセンター内国際法学会係)。9月3日(月)開催の理事会で入会が承認されれば、傍聴料は無料です。
- * 院生会員の場合は、年度毎に上記学協会サポートセンターまで在学証明書をお送りいただく必要があります。在学証明書を提出できない方は、一般会員の学会会費をお支払いください。
- * 理事会は9月3日(月)18時から札幌コンベンションセンター1階107会議室で開催されます。
- * 9月3日(月)の各種委員会にご参加の方は、全体会合の前に1階大ホール前で事前に受付(受付開始 9時30分)をお済ませください。
- * 大会の実施に関するお問い合わせは、以下にお願い申し上げます。
大会運営委員長 専修大学 森川 幸一
Email: morikawa@isc.senshu-u.ac.jp Tel:03-3825-8909
- * 大会参加登録・懇親会・お弁当の申込みやキャンセルにつきましては、「参加登録のご案内」をご参照ください。
- * 非会員の方で傍聴を希望される方は、学会ホームページをご覧ください。傍聴料(1日 2,000 円、大学学部生は1日 1,000 円)を申し受けます。